学びいっぱい・笑顔いっぱい・仲間いっぱい・元気いっぱい

ひろっこ

呉市立広小学校
令和2年12月4日
NO21　文責　校長　枝長真智子

グランドファイヤー

１１月２７日（金）の５・６校時に，５年生が本校運動場で「グランドファイヤー」を行いました。はじめは１０月２日（金）に予定していましたが，呉市内のコロナ感染状況を考慮し延期したため，やっと実施することができました。

この「グランドファイヤー」は，呉市内の小学校で中止になった野外活動の代わりの行事です。ネーミングは，各学級で考え，３組が出した「グランドファイヤー」に決まりました。実際のファイヤーはないけれど，「心はファイヤー！」という思いをもって，各学級でスタンツ（キャンプファイヤーで行う出し物）を考え，準備や練習をしました。どの学級も本番に向け，一生懸命取り組んでいました。

当日は小春日和で，心配した寒さも気にすることなく，楽しむことができました。そして広島大学の「ＫＡＰＰＡ組（野外活動サークル）」の３人が，進行・支援し，盛り上げてくれました。はじめは声の出し方や動きが小さく，ぎこちなかった子供達も，徐々にのってきて，コールやゲームで声を出し，動けるようになっていきました。どんどん心が解放されるにつれて，子供達の表情が変わり，笑顔がいっぱい増えて，生き生きと活動するようになりました。そんな子供達の姿を見て，本当にうれしかったです。

また，各学級でそれぞれ工夫したスタンツも披露しました。今までの練習の成果を発揮し，ダンスや歌，リコーダー奏，クイズなど，学級・学年が一体となって楽しむことができました。

このコロナ禍で，様々な行事が中止になり，５年生にとっては，防災の授業を除き，今回が学年でする初めての活動でした。この活動を通して，子供達は学級・学年で力を合わせるよさや楽しさを感じることができたようでした。そして，自分達で創り上げ，それをやり遂げた時の喜びを次のチャレンジへのエネルギーにしてほしいと思いました。

今年度も残り４ヶ月をきりました。６年生から「学校のリーダー」のバトンを引き継ぐ時が近づいています。５ 年生には，そのバトンをしっかりと引き継ぐことができるように，この「グランドファイヤー」での体験やそれに向けた取組の中で学んだことを今後の学習や生活に生かし，さらに成長していくことを期待しています。

（裏面もあります。）

広小「キラリ」Part5（グランドファイヤー）

★クラスで決めるのに，自分で考える子が増えた。
★楽譜やダンスの仕方を自主的に調べてくる子が多かった。
★準備や練習を子供達同士で声をかけあって，進められた。
★リコーダーやダンスが苦手な友達には何度も教えてあげていた。
★司会やジェスチャー係はより分かりやすく伝わるように練習して改善し，プレゼント係は，時間を見つけて一生懸命作っていた。
★「人前に出て活躍できる」「声が大きい」「手先が器用」といったそれぞれの特長を考えて役割を分担し，当日活躍できた。
★練習中も本番もたくさんの笑顔が見られた。
★本番で全身を思いっきり動かして楽しく踊っていた。
★みんなと楽しく活動できていた。（以上先生達より）

児童の感想より

５年全体のきずなが深まったような気がします。みんなが「がんばれ。」と言ってくれたからできました。今までは人まかせにしていたけれど，自分からチャレンジしようと思いました。やってよかったです。

ふりつけを考えたり，ソロの人が目立つようにいろいろ工夫したりしました。思い切ってやりました。周りを見ると笑顔であふれていました。５・６時間目がとても短く感じられました。今日みたいな笑顔いっぱいのクラスにできたらいいなと思いました。

たくさんのことを学びました。１つめは「協力」です。２つめは「笑顔」です。私はあまり笑わなかったけれど，しっかり笑顔を見せた方がいいのだと気づきました。３ つめは「自信」です。はじめは自信がなく小さくしかおどれなかったけれど，自信が必要だと感じました。自信をもつことは何でもできるようになる一歩だと思います。

１組

２組

３組